



2017年12月期 第3四半期決算説明資料

2017年11月14日

株式会社ツバキ・ナカシマ

(東証一部 6464)



目次

1. 2017年12月期第3四半期実績 P2



「一球一心」

一つの球に一つの誠心、愛情をこめて鋼球を作り上げること。



「一精一誠」

誠は真心であり、精は精密・精神を意味する。仕事に真心を打ち込んで、魂のこもった精密で優れた製品を作り上げること。



2017年12月期第3四半期サマリー

確固たる既存事業の推進に加え、PBC事業の取得により飛躍的な利益ある成長を開始

外部環境

- ✓ 設備／工作機械関連は成長へ
- ✓ 自動車関連はグローバルでおおむね想定通りに進捗
- ✓ 対前年同四半期に比べて為替は若干の円安傾向

主要経営活動

- ✓ 確固たる既存事業の推進に加え、NN社PBC事業買収を実施し、飛躍的な利益ある成長軌道へ
- ✓ 株式売出(主要株主の異動)を実施し株主構成の安定化を実現
- ✓ バランスシートマネジメントの強化によりフリーキャッシュフローの確実な創出



2017年12月期第3四半期決算ハイライト

既存事業に於ける売上成長及び一時費用を除く営業利益増加に加え、旧PBC事業の連結決算を開始(1.5ヶ月分)

売上面

- 売上収益は過去最高値を更新(前年同期比27.1%増、為替換算影響を除き26.3%増)

収益面

- 営業利益はPBC事業買収、株式売出等の一時費用を除くと60.6億円と過去最高を更新

キャッシュ面

- 継続的なバランスシートマネジメントの強化により一時支出を除くフリーキャッシュフロー34.1億円を創出(前年同期比40.1%増)

配当予想

- 中間配当は31円/株を9月1日に支払
- 年間配当は会社予想通り64円/株を実施予定



2017年12月期第3四半期連結業績

売上収益は為替換算影響を除き前年同期比26.3%増の350億円と過去最高を達成
 営業利益も一時費用及び為替換算影響を除き前年同期比13.9%増の60.6億円と過去最高を達成

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計					(百万円)
	実績	実績 (※2)	一時費用	一時費用 調整後 実績	為替換算 影響	増減額 (※3)	増減比 (※3)
売上収益	27,533	34,991	0	34,991	207	7,251	26.3%
営業利益	5,299	4,416	▲1,641	6,057	19	739	13.9%
EBITDA	6,497	5,794	▲1,641	7,435	34	904	13.9%
税引前利益	4,161	3,802	▲1,641	5,443	852	430	10.3%
当期(四半期)利益 (※1)	3,057	2,454	▲1,494	3,948	605	286	9.4%

(※1) “当期(四半期)利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益”を記載しております。

(※2) 2017年8月17日から9月30日までの約1.5ヶ月分旧PBC業績として、売上収益 4,088百万円、営業利益 456百万円、EBITDA 636百万円、税引前利益 454百万円、当期(四半期)利益 320百万円が含まれております。

(※3) “増減額”及び“増減比”は一時費用及び為替換算影響を除いております。

(ご参考)2017年12月期第3四半期連結業績(プロフォーマ)



旧PBCYTDを連結したプロフォーマは下記の通り

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計					(百万円)
	実績	プロフォーマ (※2)	一時費用	一時費用 調整後 実績	為替換算 影響	増減額 (※3)	増減比 (※3)
売上収益	27,533	53,826	0	53,826	207	26,086	94.7%
営業利益	5,299	6,373	▲1,641	8,014	19	2,696	50.9%
EBITDA	6,497	8,615	▲1,641	10,256	34	3,725	57.3%
税引前利益	4,161	5,727	▲1,641	7,368	852	2,355	56.6%
当期(四半期)利益 (※1)	3,057	3,835	▲1,494	5,329	605	1,667	54.5%

・上記表は、プロフォーマとして2017年1月1日より旧PBC事業を統合していたとみなした場合の業績試算数値を記載しております。

(※1) “当期(四半期)利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益”を記載しております。

(※2) 旧PBC統合前の期間を含む2017年1月1日～9月30日までの旧PBC業績、売上収益 22,923百万円、営業利益 2,424百万円、EBITDA 3,468百万円、税引前利益 2,379百万円、当期(四半期)利益 1,701百万円が含まれております。

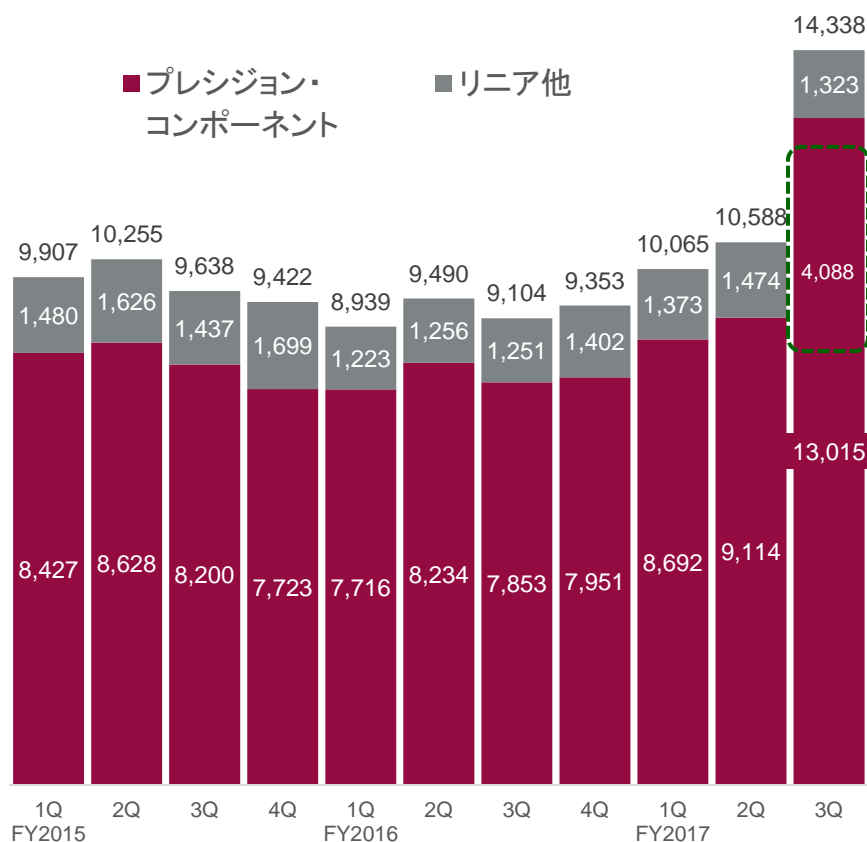
(※3) “増減額”及び“増減比”は一時費用及び為替換算影響を除いております。



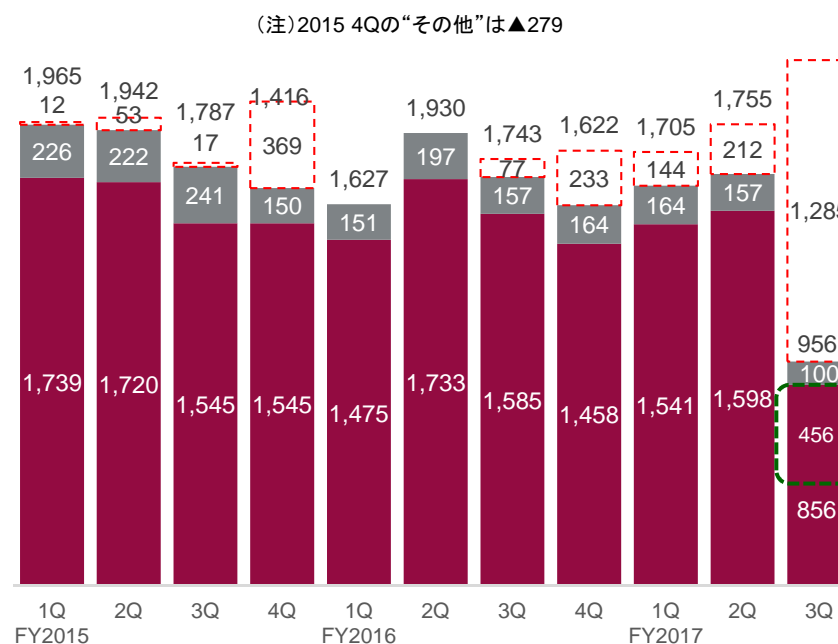
四半期グループ連結業績推移

四半期売上収益も過去最高値を更新し、一時費用を除き営業利益も過去最高

売上収益推移 (百万円)



営業利益推移 (百万円)



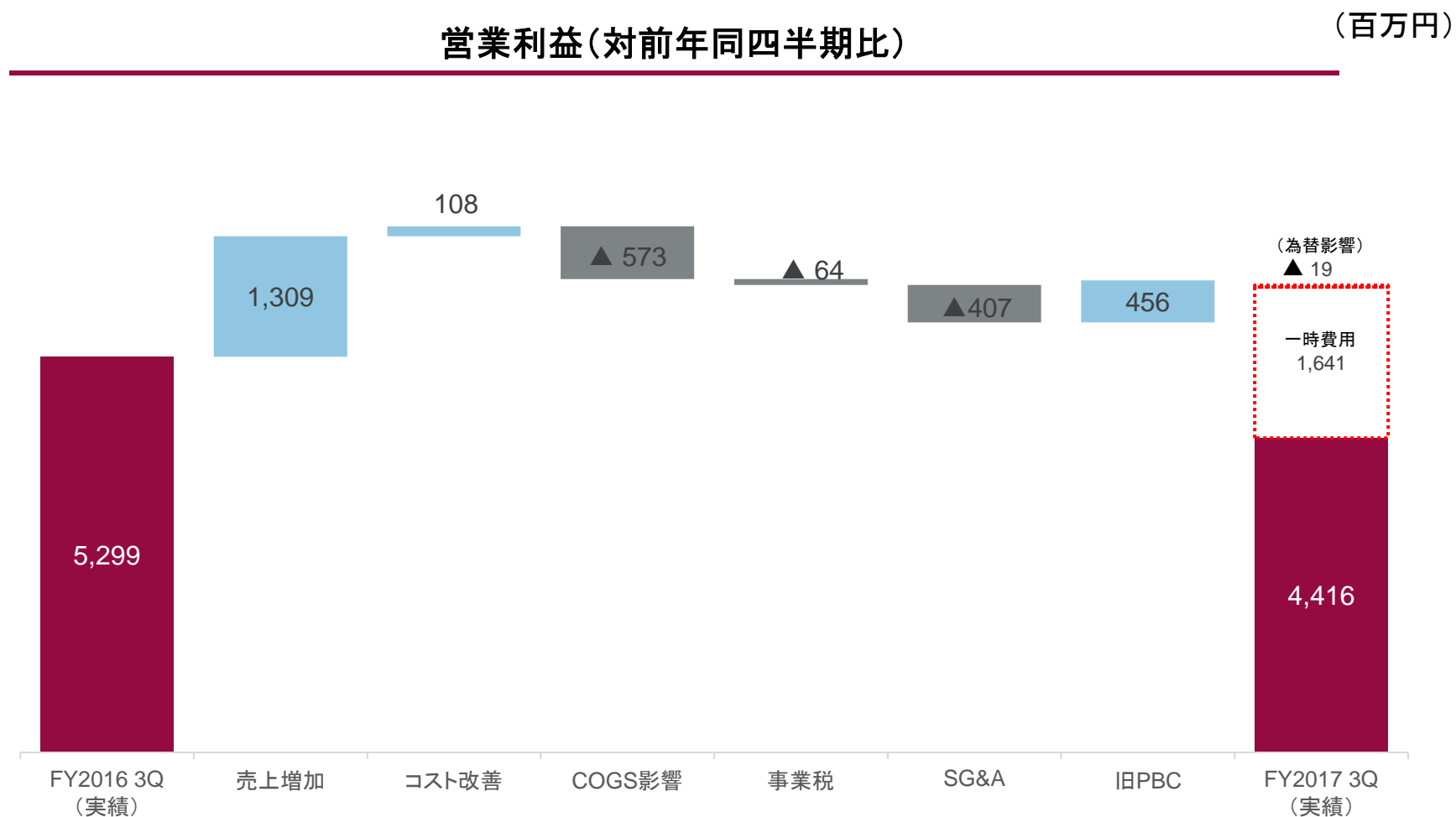
・旧PBC事業の2017年8月17日から9月30日までの約1.5ヶ月分、売上 4,088百万円、営業利益 456百万円がプレジジョン・コンポーネントビジネスに含まれております。

緑点枠線は、旧PBC事業業績を表示
赤点枠線は、一時調整費用を表示



2017年12月期第3四半期営業利益増減要因分析

営業利益は、一時費用及び為替換算影響を除き対前年同期比13.9%増の60.6億円



(※)調整後営業利益率は一時費用として主に“防災関連費用”及び“プロジェクト関連一時費用”を調整して算出しております。

2017年12月期第3四半期セグメント別売上収益 前年同期との比較



プレジジョン・コンポーネントビジネス、リニアビジネス他ともに前年同期を大きく上回り順調に推移し売上収益の過去最高値更新に貢献

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計 (百万円)			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
グループ連結	27,533	34,991	207	7,251	26.3%
プレジジョン・ コンポーネントビジネス	23,803	30,821	175	6,843	28.7%
リニアビジネス他	3,730	4,170	32	408	11.0%

・プレジジョン・コンポーネントビジネス: 精密ボール、精密ローラー、精密スタンピングメタル部品等
 ・旧PBC事業の2017年8月17日から9月30日までの売上 4,088百万円はプレジジョン・コンポーネントビジネスに含まれております。
 (※1) “増減額”及び“増減比”は為替換算影響を除いております。

2017年12月期第3四半期地域別売上収益 (プレジジョン・コンポーネントビジネスのみ)前年同期との比較



プレジジョン・コンポーネントビジネスにおける地域別売上収益においては、グローバルで順調に成長。中でも北米、欧州及びアジア地域での成長が貢献

	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計 (百万円)			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
日本	9,353	9,734	—	381	4.1%
北米	4,077	5,587	132	1,378	33.8%
欧州	4,494	7,714	▲27	3,247	72.2%
アジア	5,879	7,786	70	1,837	31.2%

・旧PBC事業の2017年8月17日から9月30日までの売上が北米 1,023百万円、欧州 2,503百万円及びアジア 562百万円含まれております。

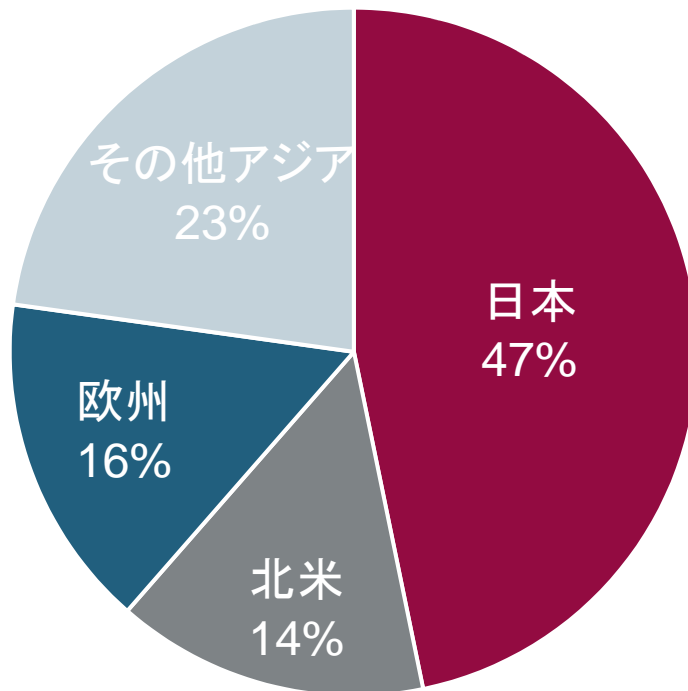
(※1) “増減額”及び“増減比”は為替換算影響を除いております。

地域売上構成変化(2016年度→現在(プロフォーマベース))

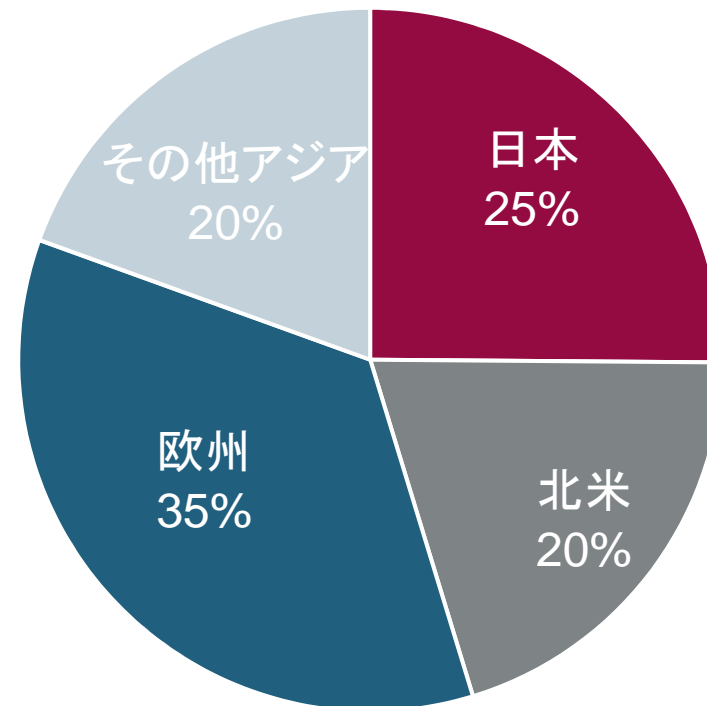


PBC買収により、グローバルでバランスのとれた売上地域構成を達成

2016年12月期



2017年1-9月
プロフォーマ



(注)旧PBC事業の為替換算については当社2017年Q3期中平均レート(1\$=111.92円)を使用しております。

(ご参考) 2017年12月期第3四半期地域別売上収益 前年同期との比較



	2016年度 3Q累計	2017年度 3Q累計			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
日本	12,932	13,536	—	604	4.7%
北米	4,077	5,587	132	1,378	33.8%
欧州	4,494	7,714	▲27	3,247	72.2%
アジア	6,030	8,154	102	2,022	33.5%

・旧PBC事業の2017年8月17日から9月30日までの売上が北米 1,023百万円、欧州 2,503百万円及びアジア 562百万円含まれております。

(※1) “増減額”及び“増減比”は為替換算影響を除いております。



BS／CFにおける業績

バランスシートの適正なコントロールを継続し、一時支出調整後のフリーキャッシュフローは前年同期比40.1%増

棚卸資産回転月数(月)(※1)

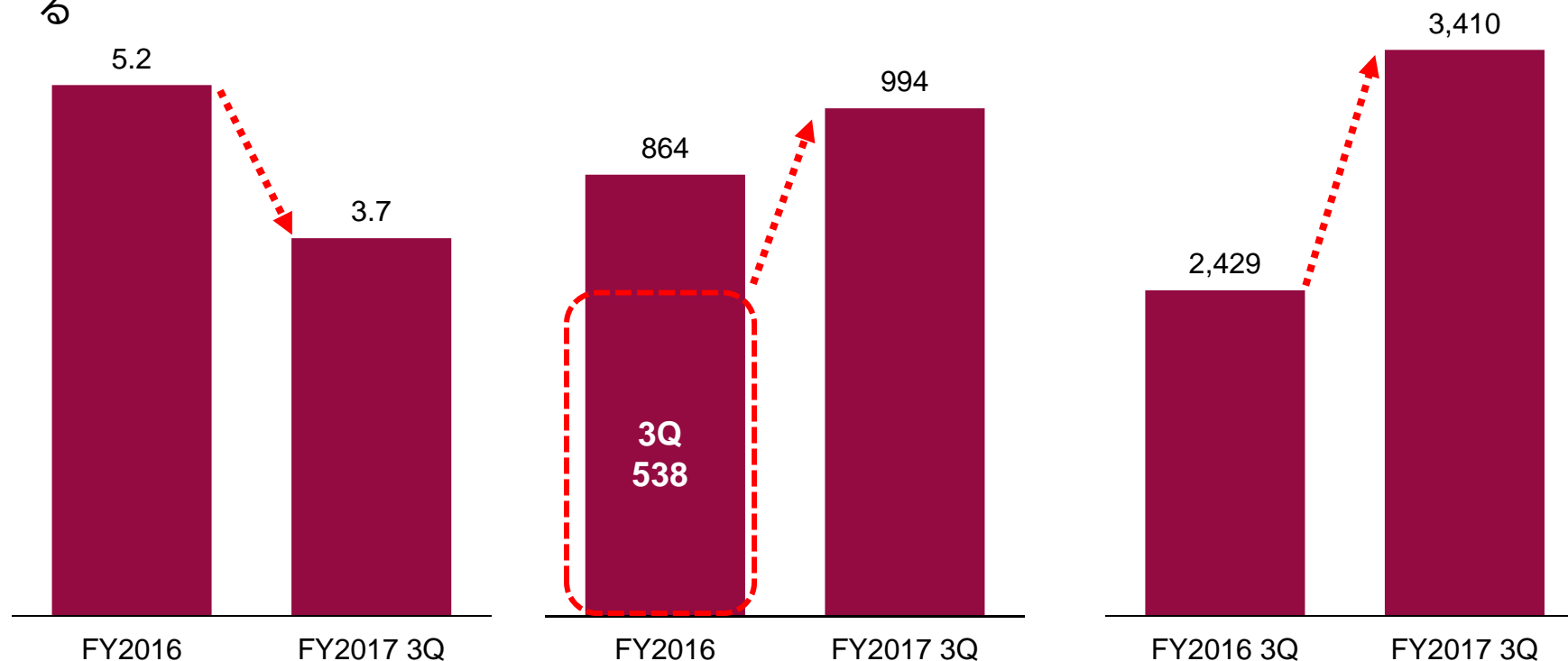
設備投資額(百万円)(※2)

調整後FCF(百万円)(※3)

■ 回転率の良いPBC取得により、昨年末実績を大きく下回る

■ 適正にコントロール

■ フリーキャッシュフロー増加



(※1) 旧PBC事業の売上収益は1.5ヶ月分として加重平均により算出

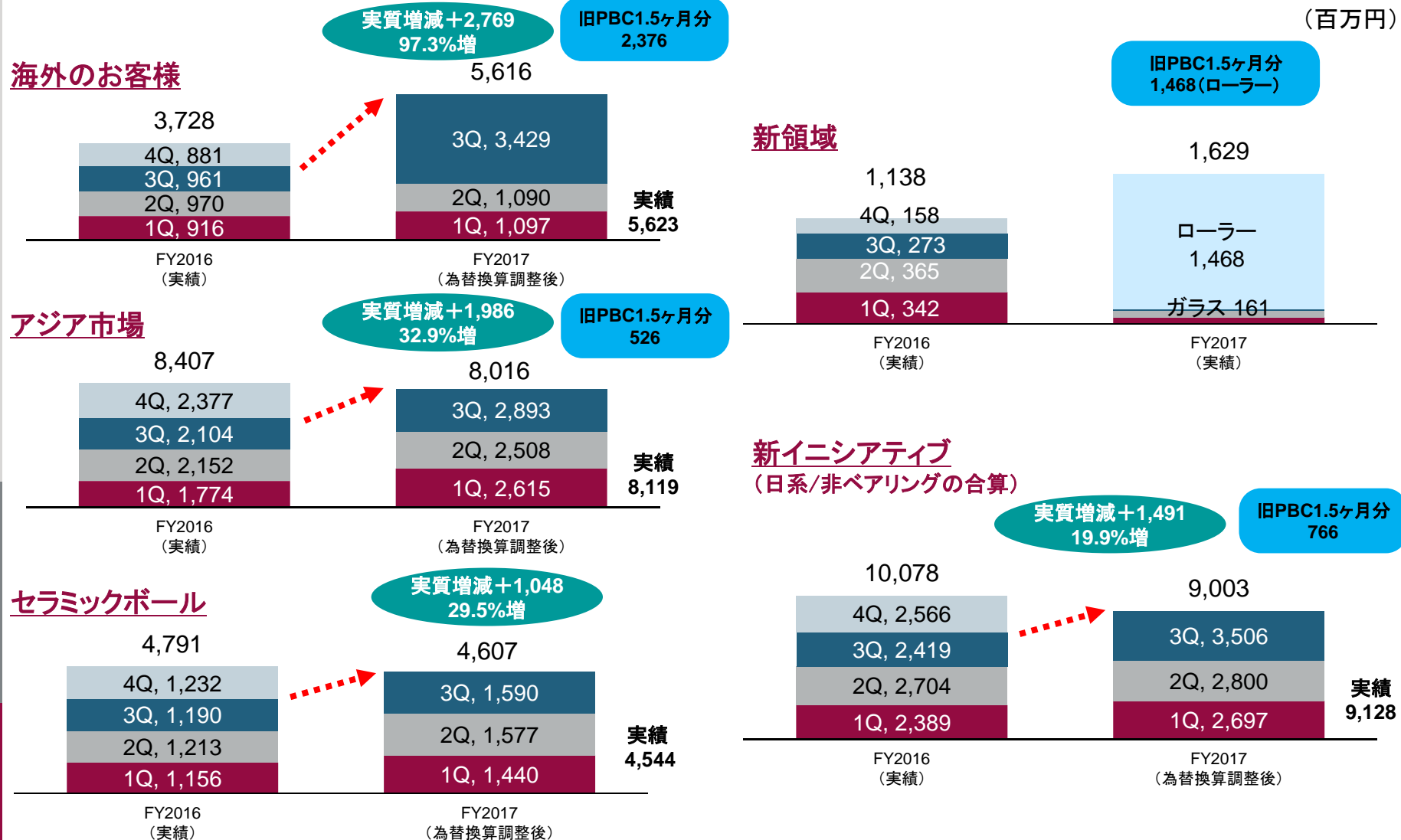
(※2) 旧PBC事業の設備投資 90百万円(1.5ヶ月分)を含みます。

(※3) 調整後FCFは、PBC事業取得に伴う 42,272百万円、PBC取得に伴う一時支出等 1,413百万円を除いて表示しております。



2017年12月期第3四半期 4(既存)+2(新規)の販売戦略進捗

販売戦略イニシアティブの進捗は以下の通り



免責事項



本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載(推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます)が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。